

エコアクション21 環境経営レポート

2021年度版

対象期間：2021年1月1日～2021年12月31日



発行日 2022年2月1日作成



大村印刷株式会社

I. 事業活動の概要

1. 事業社名及び代表者名

大村印刷株式会社（創業明治12年）

代表取締役社長 大村 一史

2. 所在地

〒920-0211

金沢市湊1丁目7番地1

3. 環境保全関係の責任者、担当組織及び連絡先

環境管理責任者 印刷課 北口 良勝

担当組織 環境委員会

連絡先 TEL 076-239-3966

FAX 076-239-3969

E-mail eigyou@omura-p.co.jp

4. 事業の内容

①認証・登録範囲 大村印刷株式会社 本社

②事業活動(対象範囲)

商業印刷物の制作・印刷・加工・販売

③環境経営レポートの対象期間及び発行日

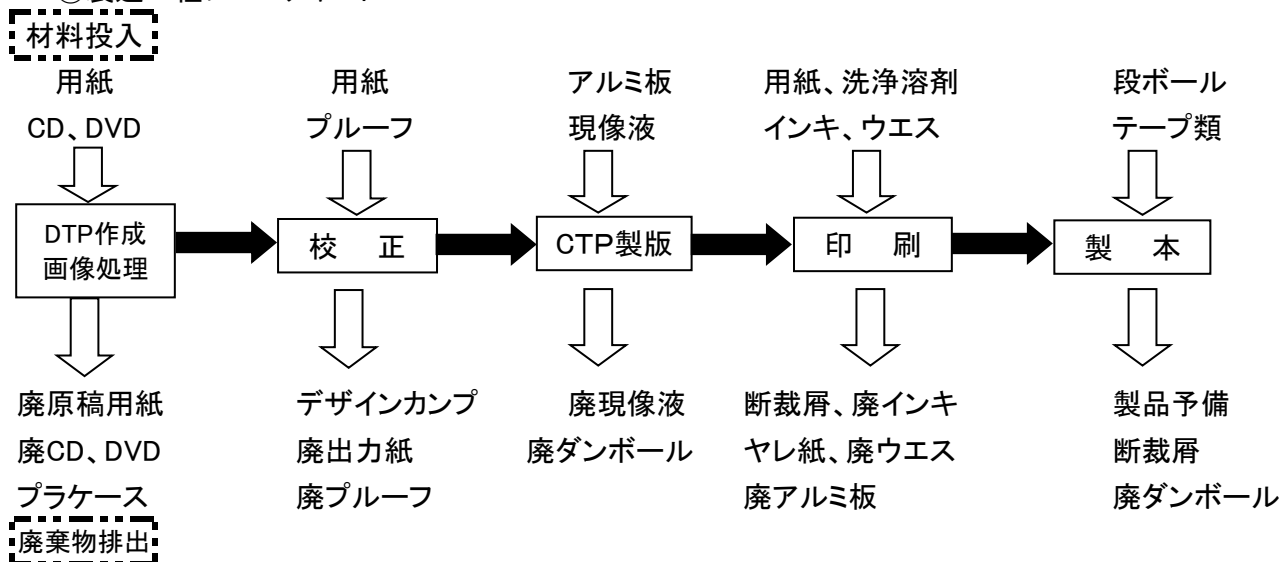
2021年1月1日～2021年12月31日（2021年度決算年度）

2022年2月1日作成

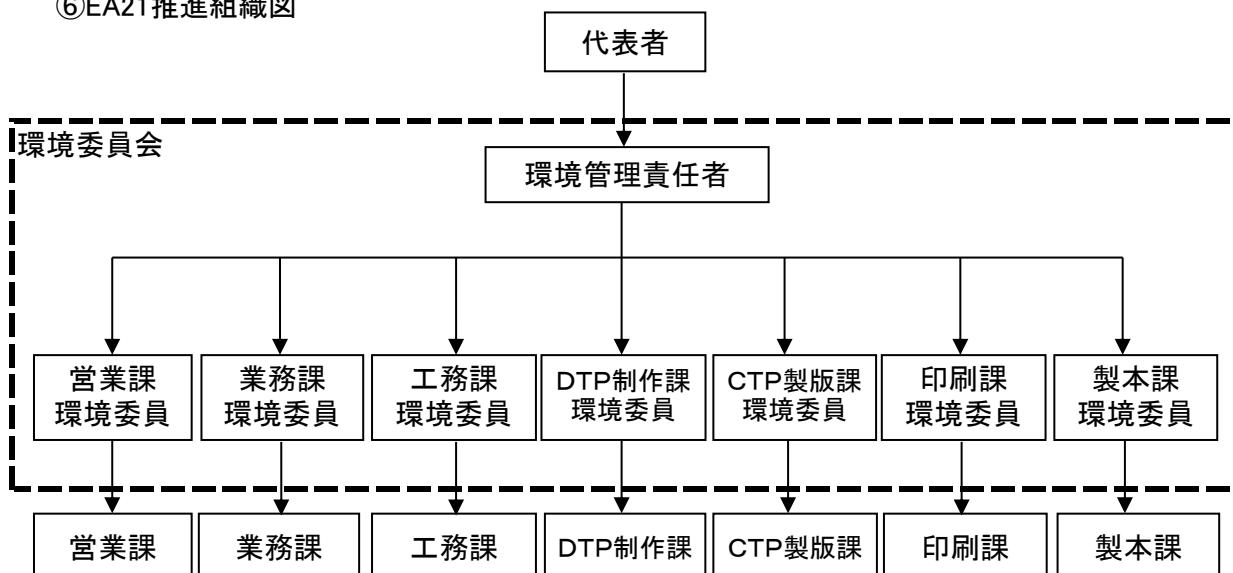
④主な原材料

印刷用紙 アルミ板 平版用印刷インキ 印刷機用洗浄溶剤 段ボールケース等

⑤製造工程フローチャート



⑥EA21推進組織図



【責任者の役割】

代表者	環境経営方針の制定
	環境管理責任者の任命
	環境保全に関する人、もの、資金の提供
	エコアクションシステムの見直しをする
環境管理責任者	エコアクション21活動責任者
	環境経営レポートの作成、公開
	環境目標、計画の作成と進捗管理
	環境関連法律の順守評価
環境委員会	環境管理責任者の補佐
	取組項目のチェック
	進捗管理のデータ収集、整理
	取組項目の社員指導

5. 事業の規模

紙購入量	216トン（2021年度:2021年1月1日～2021年12月31日）
従業員数	40人（2021年度平均従業員数）
延床面積	2,496m ²

6. 環境経営レポートの公表の方法

- (1) 当社のホームページに掲載して公表します。
- (2) 当社の事務所に書面で備え付け、閲覧に供します。

Ⅱ. 環境経営方針

基本理念

私たち大村印刷株式会社は、地球環境の保全が人類共通の重要課題の一つであることを認識し、さらに、自らが印刷事業者の一員として『紙』等の資源を多く扱う責任ある立場であることを良く理解し、その事業活動において、可能な範囲で最大限『省資源』、『廃棄物の削減』、『汚染の予防』に努めながら、環境保全に配慮した生産活動を展開することで、印刷文化への貢献と同時に、『持続可能な社会の実現』を目指します。

基本方針

1. 環境負荷を低減するために以下のことに取り組みます。
 - ①電力使用量の削減
 - ・印刷機等生産設備の高効率な稼動と、不必要な電灯の消灯等
 - ②化石燃料の削減
 - ・空調設備の設定温度と稼動の管理、車両のエコドライブの推進等
 - ③廃棄物の削減
 - ・廃インキ、刷版廃液、不燃物の管理徹底と適正処理等
 - ④より一層のリサイクルとリユース、リデュースの推進
 - ・印刷用紙のムダ排除、ヤレ紙、断裁屑、ダンボール、その他包材等の分別徹底と、コピー用紙の再利用や、リユース、リデュースの活動推進
 - ⑤水使用量の削減
 - ・全社的な節水の推進
2. 環境関連法規を遵守します。
3. 環境負荷の低減目標や運用計画は、定期的に見直し、継続的に改善に努めます。
4. 環境経営方針を全社員に周知します。
 - ・指導や社内教育を通じて、環境保全に関して全社員に常に高い意識を求め続けます。
5. 環境経営レポートを公表することで、社内外に対して環境保全への高い意識と、保全活動への参加を促します。

2021年2月1日

大村印刷株式会社

代表取締役社長 大村 一史

Ⅲ. 環境経営目標 (2021年2月1日作成)

【今後3年間の目標】

- ・二酸化炭素排出量 2021年度は過去3年間の平均値を目標として、以降は付加価値当り排出量を前年度比1%削減とする。

	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	219,309	217,116	214,945
付加価値当り排出量	kg-CO ₂ /百万円	954	944	935

電力の二酸化炭素排出係数:0.542kg-CO₂/kWh(北陸電力2019年度実排出係数)

- ・廃棄物排出量 2021年度は過去3年間の平均値を目標として、以降は付加価値当り排出量を前年度比1%削減とする。

	単位	2021年度	2022年度	2023年度
廃棄物排出量	ton	99.2	98.2	97.2
付加価値当り排出量	ton/百万円	0.43	0.43	0.42

- ・リサイクル率 2021年度以降は現状維持とする。

	単位	2021年度	2022年度	2023年度
リサイクル率	%	89	89	89

- ・水使用量 2021年度は過去3年間の平均値を目標として、以降は付加価値当り排出量を前年度比1%削減とする。

	単位	2021年度	2022年度	2023年度
水使用量	m ³	616	610	604
付加価値当り使用量	m ³ /百万円	2.68	2.65	2.63

付加価値額の年度別推移

	単位	2021年度	2022年度	2023年度
付加価値額	百万円	230	235	239

- ・印刷工程での不良品率の改善

2021年度	①再作業伝票等により率を数値化する。
	②品質管理スタッフと連携して改善をする。
	③印刷課ミーティングで改善を検討する。

- ・化学物質の管理強化

2021年度	①使用している化学物質のSDSを管理する。
	②化学物質の使用量を記録、管理する。
	③代替物質への変更を検討する。

- ・グリーン購入

2021年度	営業活動として、顧客にFSC認証印刷用紙の使用を進める。
--------	------------------------------

IV. 環境経営計画の具体的な取り組みと結果

各課ごとの取り組み項目の結果

・点数=(○を2点、△を1点、×を0点でチェックした合計)÷チェック回数 【満点=2.00】

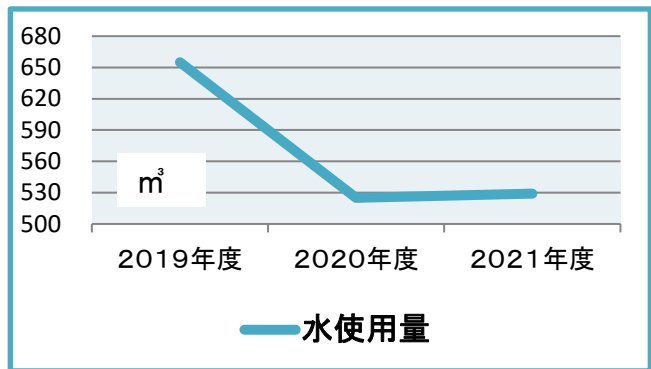
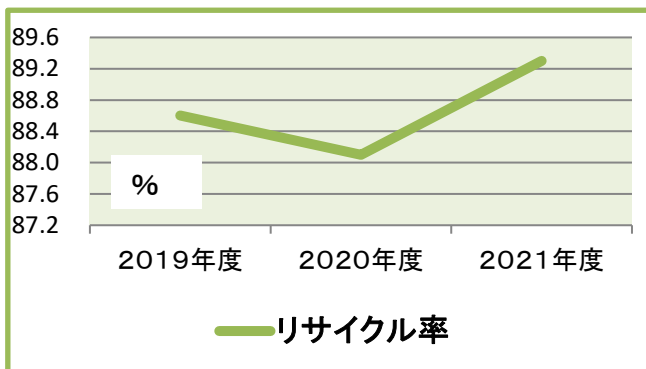
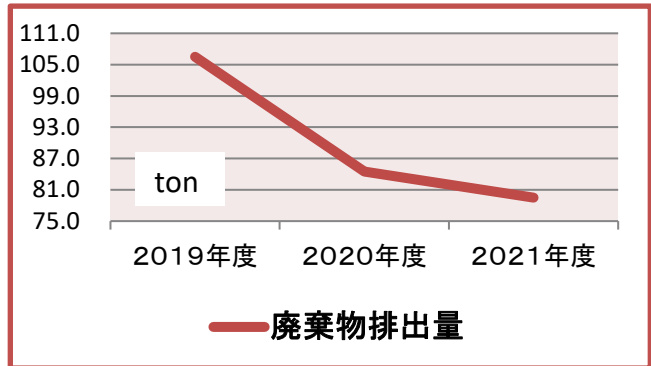
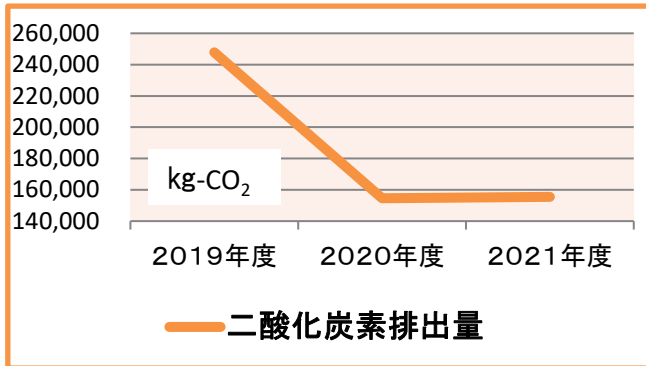
・評価 ○=2.00 △=1.99~1.80 ×=1.79以下

共同使用部分チェックリスト		
◎照明の切り忘れがないか？ 必要のない照明を使っていないか？		
◎換気扇(ロスナイ)の切り忘れがないか？必要のない換気扇(ロスナイ)を使っていないか？		
◎水道の止め忘れがないか？		
◎水道の漏れ、トイレの故障がないか？		
◎エアコンの切り忘れがないか？必要のないエアコンを使っていないか？	点数	評価
通用口、下足室 17:00迄	2.00	○
通用口、下足室 17:00以後	2.00	○
給湯室 17:00迄	2.00	○
給湯室 17:00以後	2.00	○
2F フィルム倉庫	2.00	○
食堂	2.00	○
男女ロッカー室	1.96	△
2F会議室、2F階段	2.00	○
荷捌室、車寄せ	1.99	△
工場2F倉庫	1.98	△
リフトエレベータ室	1.98	△
工場1Fトイレ	1.75	×
営業課チェックリスト		
①12:00~12:45及び17:00以降、照明スイッチのON・OFFを頻繁に行う。	1.16	×
②帰宅の前に、ノートパソコンの電源のON・OFFの確認をする。	2.00	○
③営業車を使用するにあたってのエコドライブを意識する。	2.00	○
④各自区別してリサイクルBOXにリサイクル用紙を入れてリサイクル量を増やす。	2.00	○
⑤空調ON・OFFの徹底及び営業時間外での電源OFF！！	2.00	○
業務課チェックリスト		
①昼休み及び17:00以降は照明のON・OFFをこまめに行う。	2.00	○
②エアコンの温度管理の徹底、無駄な使用はしないこと。	2.00	○
③ポットの水を追加する際、入れすぎないようにする。	2.00	○
④個人情報に含まれていない紙はリサイクルボックスに入れる。	1.98	△
⑤各自帰宅の際、PC電源を必ずOFFにする。	2.00	○
工務課チェックリスト		
1. コピー用紙の枚数チェック	1.99	△
2. 電話内容の要点を整理し、スムーズに伝える	1.99	△
3. 制作入稿への自らの再認識	1.99	△
4. 伝票が正しく記載されているか	2.00	○
5. 製版への正確・的確な指示が出来ているか	1.97	△
6. 印刷設計時の再確認(ムダ取り、判型、予備枚数)	2.00	○
7. 印刷後の刷取りの確認	2.00	○
8. 退社時の機の整理整頓	2.00	○
制作課チェックリスト		
①誰もいない部屋は照明のスイッチOFF	2.00	○
②使用するOA機器のみ電源ON	1.99	△
③エアコンの推奨温度管理の徹底	2.00	○
④シュレッダーを使用する際、紙とCDとで分別出来ているか	2.00	○
⑤作業の効率を良くするため机の上の整理・整頓	1.45	×
⑥出力を出した際に、無駄な紙の使い方をしていないか	2.00	○
⑦ゴミの分別を徹底し、リサイクル量を増やす	2.00	○
製版課チェックリスト		
1. 廃液を減らす。(週1回)	2.00	○
2. ブルーフ出力時の無駄紙を減らす。	2.00	○
3. 誰も部屋に居ない時に照明が点いていなかったか。	2.00	○
4. ブルーフの不要な切れ端は細かく、ちぎり捨てる。	2.00	○
5. エアコンの推奨温度管理を徹底する。	2.00	○
6. 版に掛ける名前の紙は使用済み用紙の裏面を再利用したか。	2.00	○
7. 水道を流しっぱなしにできなかったか。	2.00	○
8. ブルーフの出力機のクリーニングを朝一に行う。	2.00	○
9. 現像機は朝一に版をとお試し運転する。	2.00	○
印刷課チェックリスト		
1. 照明、換気扇の切り忘れ、必要のない電力使用の削減	1.68	×
2. 3ヶ月毎に、エアコンフィルターの点検清掃をする	1.00	×
3. 印刷室内の温度、湿度管理を徹底する	1.83	△
4. 再生できる紙の分別を徹底して、リサイクル量を増やす	2.00	○
5. 溶剤1斗缶(再生金属)を廃棄する時、中を適切に処理してからリサイクルする	1.80	△
6. 最新のSDSをチェックして、PRTR法の指定物質を含む化学物質の管理	2.00	○
7. 本刷り前の再確認(作業伝票のチェック等)をして、刷り直しトラブルの防止	1.58	×
8. 効率の良い生産計画を立てて、残業時間の短縮を進める	1.25	×
製本課チェックリスト		
①各自、作業伝票を確認して、包装ミスやラベルの貼りまちがいを削減	2.00	○
②添付文書時の手洗い・コロコロ・帽子の中にきちんと髪を入れることを徹底する	2.00	○
③エアコンの温度管理・使用時間のチェック	2.00	○
④雑屑の種類別を徹底する	2.00	○
⑤使用していない折機や照明の電源は切る	1.98	△

V. 環境実績の結果

【過去3年間の実績】 電力の二酸化炭素排出係数:0.542kg-CO₂/kWh(北陸電力2019年度実排出係数)

	単位	2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	247,848	154,610	155,571
廃棄物排出量	ton	106.5	84.5	79.5
リサイクル率	%	88.6	88.1	89.3
水使用量	m ³	655	525	529

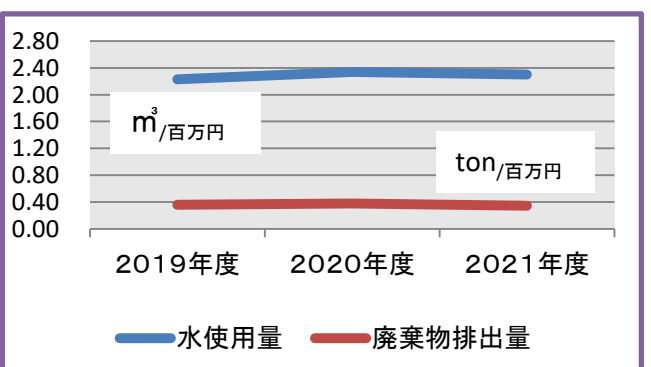
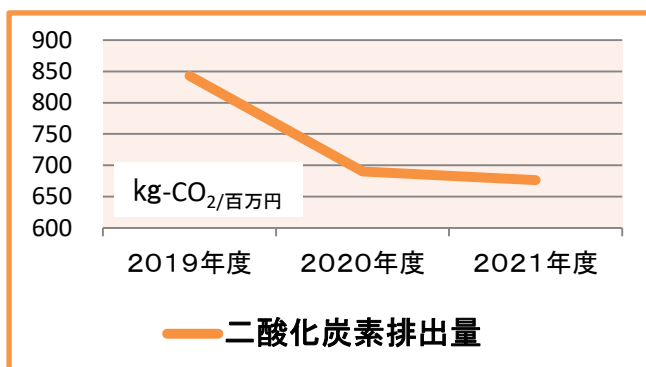


付加価値額の年度別推移

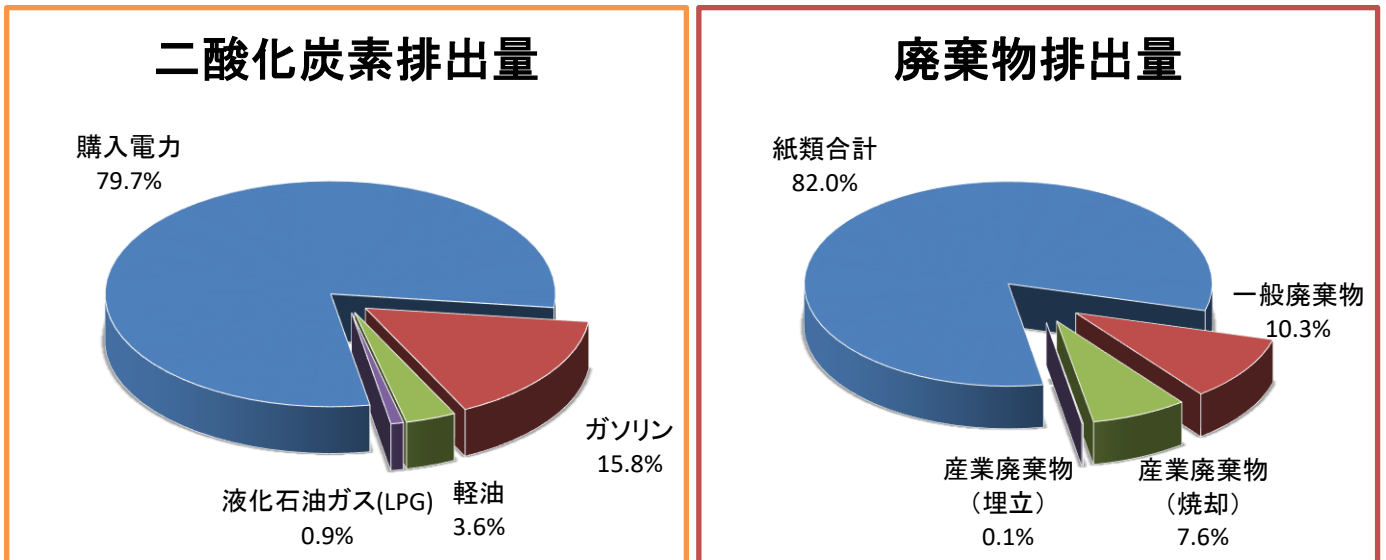
	単位	2019年度	2020年度	2021年度
付加価値額	百万円	294	224	230

【付加価値額当りの実績】

	単位	2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /百万円	843	690	676
廃棄物排出量	ton/百万円	0.36	0.38	0.35
水使用量	m ³ /百万円	2.23	2.34	2.30



VI. 環境活動の取り組み結果の評価



2021年度の二酸化炭素排出量の割合は、購入電力が約80%、ガソリン約16%、軽油が約4%で、購入電力が二酸化炭素排出量の大部分を占める。廃棄物排出量の約80%は、循環資源として再生利用される紙類である。

【付加価値額当りの2021年度の計画と実績】

	単位	計画	実績	実績/計画
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /百万円	954	676	0.71
廃棄物排出量	ton/百万円	0.43	0.35	0.81
水使用量	m ³ /百万円	2.68	2.30	0.86

付加価値当りの実績値では、

- 二酸化炭素排出量 対計画比 約29% の減少
- 廃棄物排出量 対計画比 約19% の減少
- 水使用量 対計画比 約14% の減少になった。

今年度は、付加価値当りの実績値では必須3項目で、目標を大幅に達成することができた。外注加工費の減少(社内加工の増加)による付加価値額が増加した事と、空調機器のエネルギーをLPGから電力に変更した事、照明を蛍光灯からLEDに変更した導入効果が主な要因だと判断されます。今後更に、改善すべき点を修正して、継続的に取組んでいかなければならない。

【大村印刷 火災消火訓練】

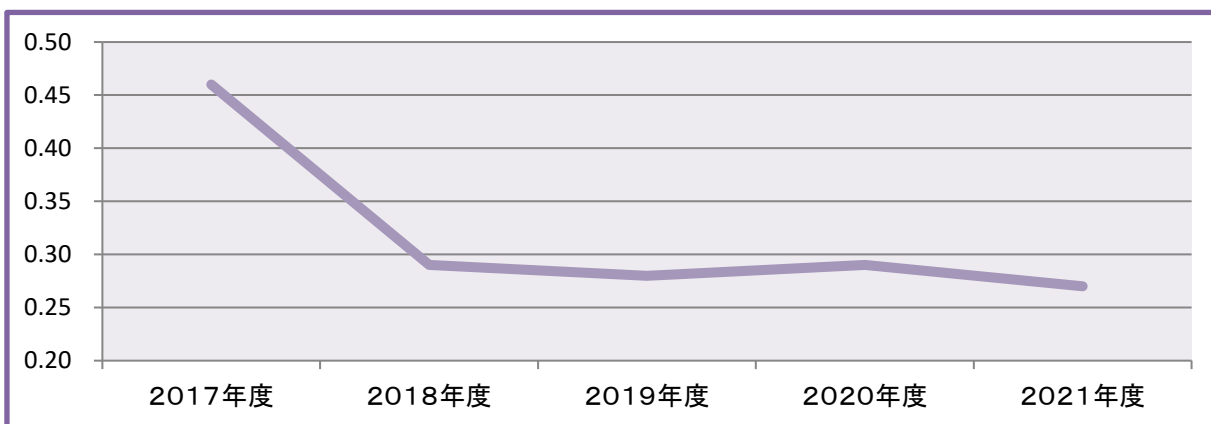
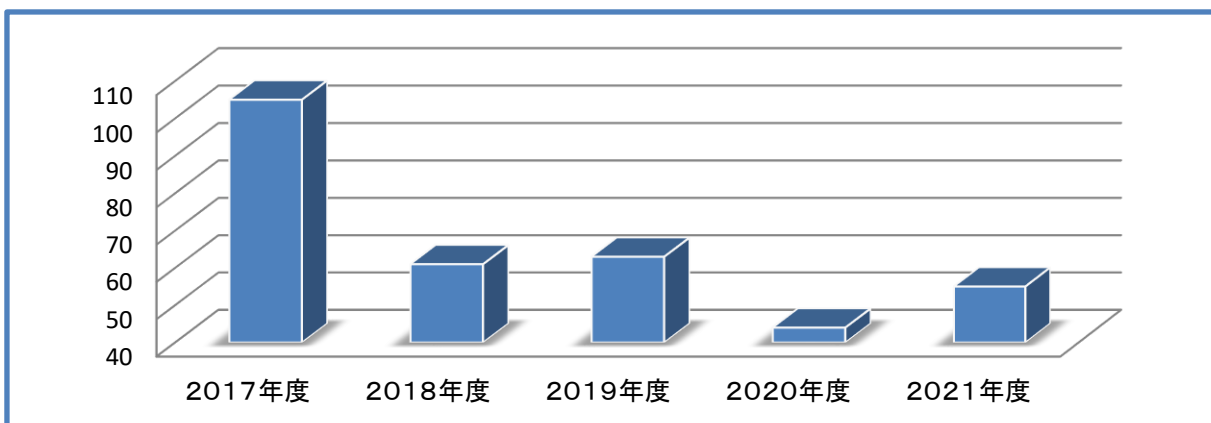
2021年6月29日 敷地内にて毎年行っている火災消火訓練を実施



【2017～2021年度 印刷工程での不良率】

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
刷り直し件数	105	61	63	44	55	件
不良率	0.46	0.29	0.28	0.29	0.27	%

・不良率＝刷り直し枚数÷総通し枚数×100



2021年度刷り直し件数が増えているのは、コロナ下の状況で、印刷課ミーティングを行えず、情報の共有、問題解決策を話し合えなかった結果だと思われる。

【次年度への新たな取り組み】

- ・PRTR法指定化学物質を、早期に全量対象外に変更する。
- ・各課ごとの取り組み項目の、点数2.00評価○の項目は、次年度新たに内容を変更する。
(但し、継続的に必ず行わなければならない項目は対象外とする)
- ・印刷課ミーティングを行い、各情報を共有して、問題解決に取り組む。

VII. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法規名	当社の遵守内容	チェック日	確認者
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善に関する法律 (PRTR法)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用している化学物質すべてのSDSを管理して、取り扱いの注意点を認識する ・使用している化学物質の使用量を記録する ・最新のSDSを確認する 	2021年 10/31	北口
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理票(マニフェスト)を管理し、台帳を作成して管理する ・契約書(許可証、有効期限)のチェック ・管理票(マニフェスト)は5年間保管すること 	2021年 12/29	北口
	<ul style="list-style-type: none"> ・6/30までに1年間の使用状況を報告すること 	2021年 6/30	北口
騒音規制法 振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設(機械)を把握する ・定期的にメンテナンスをして、規制基準を遵守する ・大村印刷(株)の湊1丁目は規制区域外である 	2021年 10/1	北口
消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・少量危険物貯蔵取扱い許可 第1石油類(ガソリン)36ℓ 第2石油類(灯油)36ℓ 第4石油類(マシン油)18ℓ 	2021年 10/1	北口
フロン排出抑制法	業務用エアコンの室内機及び室外機において 「異常振動・異常音」「油にじみ」 「損傷、腐食」「風量・送風温度異常」を 定期的にチェックして記録する	2021年 11/30	北口

環境関連法規の違反及び苦情等はありませんでした。

なお、関係当局より違反、訴訟等の指摘は過去3年間ありませんでした。

VIII. 代表者による全体評価と見直しの結果

2021年度は、付加価値当りの実績値では必須3項目で目標を達成することができた。

環境経営方針は継続とする。

2022年度においては、環境目標を過去3年間の平均値に、リサイクル率は現状維持とする。

二酸化炭素排出量が昨年度と比較して、今年度は微増しているため更なる削減を指示した。

2022年2月4日

大村印刷株式会社

代表取締役社長 大村 一史